

2020

UNAIDS が 2030 年のエイズ流行終結に向けた目標を発表 (90-90-90 by 2020)

single tablet regimen (スタリビルド®) 発売
1日1回1錠の時代へ

日本エイズ学会認定制度開設

米国 CDC が曝露前予防目的でのツルバダ® 使用を承認

インテグラゼ阻害剤 Raltegravir (アイセントレス®) 発売

経口 CCR5 阻害薬 Maraviroc (シーエルセントリ®) 発売
多剤耐性 HIV 治療プロテアーゼ
阻害剤ダルナビル (プリジスタ®) 発売

エイズ治療中核拠点病院整備
ウイルス疾患指導料 2 に施設基準加算新設
(チーム医療加算)



6月 | 持続性注射薬カボテグラビル (ボカブリア®、リルピビルン (リカムビス®)) 発売
11月 | 日本エイズ学会と International Association of Providers of AIDS Care (IAPAC) が覚書を締結

2022

4月1日 ACC 設立 25 周年
【資料開発】患者ノート 患者さんへアンケート調査を開始



設立 25 周年にあたり、東京 HIV 訴訟原告団・ACC クラブ世話会の方々の呼びかけにより、患者さんやご家族・ご遺族など様々な方々から ACC ヘッセージをいただきました。

2021

12月 | レッドリボン 30 周年
6月 | 国連 HIV/ エイズ・ハイレベル会合がニューヨークの国連本部にて開催
「HIV 及びエイズに関する政治宣言 2030 年までのエイズ流行終息及び HIV 対策の強化」を目的とした政治宣言が採択される (95-95-95 by2030)

登録患者数が 5000 人に達する
研修受講者が累計 4000 人を突破
国際シンポジウム「The 1st Workshop on UNAIDS Global AIDS Monitoring Japan」開催
日本エイズ学会、国際エイズケア提供者協会と「Fast Track Cities Workshop Japan 2021」共催

第1回 HIV 感染症患者の療養支援に関する Ns と MSW の協働シンポジウム開催
第1回 HIV 感染症患者のメンタルヘルスを考える看護職と心理職の協働シンポジウム開催
【研修】ACC e-Learning 開講
【臨床研究】血友病 HIV 感染者の冠動脈狭窄に関する研究を実施
【国際研究】ハノイ医科大学と HIV/AIDS、性感染症、PrEP に関する第1回ワークショップを開催
【資料開発】こころつながるー長期療養時代のメンタルヘルス公開

2020

UNAIDS が年次報告書 GLOBAL AIDS UPDATE 2020 「Seizing the moment (この機会をつかむ)」を発表

NCGM が国連合同エイズ計画 (UNAIDS) と覚書を締結
東京 2020 公認プログラム Tokyo Sexual Health ウェブサイト開設

【研修・資料開発】新しい e-learning システム開発
【臨床研究】ヒトパピローマウイルス関連肛門がんの早期発見と予防に関する研究を開始

2019

【国際研究】ベトナムにおいて「地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム (SATREPS)」(2019-2024 年度) を開始
The path to ending AIDS: Mobilizing the city for Tokyo 2020 を開催
第1回 HIV 感染症看護職相互交流シンポジウムー首都圏編ー開催

2018

薬害 HIV 救済医療シンポジウム開催
PMDA 報告書データを元にした薬害 HIV 被害者個別支援を開始
CAIDS・ACC・ARC 合同シンポジウム開催

2017

血友病包括外来前に「命の樹 モニュメント」設立
ACC 設立 20 周年記念式典
第1回 日台合同 HIV/AIDS シンポジウム開催
救済医療室ウェブサイト開設
Sexual Health 外来開設・ウェブサイト開設

2016

血友病薬害被害者手帳 発行

第2外来棟に専門外来・血友病包括外来移転
研修受講者が累計 3000 人を突破
【臨床研究】Aging に伴う合併症スクリーニングに関する研究 /HAND 研究開始
【国際共同治験】史上初の注射剤 2 剤のみによる抗 HIV 療法 Cabotegravir/Rilpivirine の国際共同治験に参加

2015

登録患者数が 4000 人に達する
【疫学研究】コミュニティセンター akta と協力し郵送検査「HIV-Check」開始
【資料開発】薬害被害者診療用「診療チェックシート解説書」発行
ACC センター長の岡慎一が第29回日本エイズ学会学術集会・総会会長を務める

2014

【臨床研究】日本における HIV 関連神経認知障害に関する疫学研究 (J-HAND 研究)

2013

薬害 HIV 感染血友病等患者を対象としたリハビリ検診会を NCGM リハビリテーション科と合同で初めて開催 (年1回定期開催)
【資料開発】薬害 HIV 感染被害者向け「Support Fact Book Sheet(ver.1.0) 発行
【国際研究】モンゴルにおいてゲイ・バイセクシャル男性のコホート研究開始

2012

研修受講者が累計 2000 人を突破

2011

救済医療室開設
12階東に病棟移転
【臨床研究】テノホビル、エムトリシタピン (あるいはラムブジン) とロピナビル/リトナビル合剤を併用している HIV 感染者を対象に、現行レジメン継続とラルテグラビル・プリジスタ/リトナビル併用とを無作為割付するオープンラベル多施設共同臨床試験 (SPARE 試験) 実施
【国際研究】ベトナムにおける HIV 感染者の予後に関する多施設共同観察研究: JGRID 第 II 期 (2011-2020)
ACC ベトナム拠点ウェブサイト開設
【研修】周産期・小児医療 (産婦人科医、小児科医、助産師等) コース開設

2010

登録患者数が 3000 人に達する
【研修】地域支援 (保健師、訪問看護師、ヘルパー、介護福祉職等) コース開設

2009

【研修】薬剤師コース開設

2008

第1回日韓合同 HIV/AIDS シンポジウム開催

2007

ACC 設立 10 周年記念式典
【臨床研究】MK-0518 (raltegravir) の早期併用プログラムへの参加 (国内初)
【臨床研究】HIV 感染症に対する一日一回併用療法として、アタザナビル/リトナビルを固定し、エブジコムとツルバダを無作為割付するオープンラベル多施設共同臨床試験 (ET study)
【研修】短期基礎 (1日間) コース 開設

2006

登録患者数が 2000 人に達する
【国際研究】薬剤耐性 HIV の感染拡大阻止に向けたベトナムとの共同研究: JGRID 第 I 期 (2006-2010)